

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年7月2日 第5校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年2組(31名)

使用教科書中学生の音楽 2,3 下(教育芸術社出版 P10～22)

(4) 題 材 名 曲想を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第2学年では「浜辺の歌」の学習を通して旋律のまとまりについて考え、表現を工夫することについて学習した。その際、二部形式の構成について理解し、旋律のまとまりを生かして音楽表現を工夫することを経験している。

【題材のねらい】

曲想と歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・歌唱活動に苦手意識があり、消極的な生徒が目立つ。
- ・楽譜について、音符や休符、音楽用語などある程度理解できている生徒が多い。
- ・各自のタブレット端末には、パートの旋律や伴奏の音源が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全 時間)

次 (時数)	学習内容	活動・ 指導形態	評価計画
第1時	・本時の学習内容を理解する。 ・「早春賦」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・斉唱する。	一斉	
第2時 本時 P20 ～ 22	・「早春賦」の言葉のリズムと拍子の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花」の歌詞について意味を知り、2つの旋律について音取りをする。 ・全員で二部合唱する。	個人 グループ	
第4時	・「花」の言葉のリズムと旋律の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	一斉 パート	思考・判断・表現
第5時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花の街」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第6時	・「花の街」に描かれた情景と時代背景を理解して、自分なりのイメージをふくらませて歌唱表現の工夫について考える。 ・考えたことを歌い確かめる。	一斉 個人	
第7時	・「花の街」を現代に歌うことの意義について考える。 ・考えたことを共有する。 ・考えたことをもとに、曲にふさわしい表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第8時	・3曲の日本歌曲の学習を通してわかったことについてまとめる。 ・1曲を選び、曲にふさわしい表現を工夫しながら歌唱する。なお、個人のタブレット端末に録音する。	個人	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年7月2日 第5校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年2組(31名)

使用教科書中学生の音楽 2,3 下(教育芸術社出版 P10～22)

(4) 題 材 名 曲想を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第2学年では「浜辺の歌」の学習を通して旋律のまとまりについて考え、表現を工夫することについて学習した。その際、二部形式の構成について理解し、旋律のまとまりを生かして音楽表現を工夫することを経験している。

【題材のねらい】

曲想と歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・歌唱活動に苦手意識があり、消極的な生徒が目立つ。
- ・楽譜について、音符や休符、音楽用語などある程度理解できている生徒が多い。
- ・各自のタブレット端末には、パートの旋律や伴奏の音源が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全 時間)

次 (時数)	学習内容	活動・ 指導形態	評価計画
第1時	・本時の学習内容を理解する。 ・「早春賦」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・斉唱する。	一斉	
第2時	・「早春賦」の言葉のリズムと拍子の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花」の歌詞について意味を知り、2つの旋律について音取りをする。 ・全員で二部合唱する。	個人 グループ	
第4時	・「花」の言葉のリズムと旋律の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	一斉 パート	思考・判断・表現
第5時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花の街」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第6時	・「花の街」に描かれた情景と時代背景を理解して、自分なりのイメージをふくらませて歌唱表現の工夫について考える。 ・考えたことを歌い確かめる。	一斉 個人	
第7時 本時 P16～ 18	・「花の街」を現代に歌うことの意義について考える。 ・考えたことを共有する。 ・考えたことをもとに、曲にふさわしい表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第8時	・3曲の日本歌曲の学習を通してわかったことについてまとめる。 ・1曲を選び、曲にふさわしい表現を工夫しながら歌唱する。なお、個人のタブレット端末に録音する。	個人	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年7月2日 第5校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年2組(31名)

使用教科書中学生の音楽 2,3 下(教育芸術社出版 P10～22)

(4) 題 材 名 曲想を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第2学年では「浜辺の歌」の学習を通して旋律のまとまりについて考え、表現を工夫することについて学習した。その際、二部形式の構成について理解し、旋律のまとまりを生かして音楽表現を工夫することを経験している。

【題材のねらい】

曲想と歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・歌唱活動に苦手意識があり、消極的な生徒が目立つ。
- ・楽譜について、音符や休符、音楽用語などある程度理解できている生徒が多い。
- ・各自のタブレット端末には、パートの旋律や伴奏の音源が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全 時間)

次 (時数)	学習内容	活動・ 指導形態	評価計画
第1時	・本時の学習内容を理解する。 ・「早春賦」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・斉唱する。	一斉	
第2時	・「早春賦」の言葉のリズムと拍子の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花」の歌詞について意味を知り、2つの旋律について音取りをする。 ・全員で二部合唱する。	個人 グループ	
第4時	・「花」の言葉のリズムと旋律の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	一斉 パート	思考・判断・表現
第5時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花の街」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第6時 本時 P16～ 18	・「花の街」に描かれた情景と時代背景を理解して、自分なりのイメージを ふくらませて歌唱表現の工夫について考える。 ・考えたことを歌い確かめる。	一斉 個人	
第7時	・「花の街」を現代に歌うことの意義について考える。 ・考えたことを共有する。 ・考えたことをもとに、曲にふさわしい表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第8時	・3曲の日本歌曲の学習を通してわかったことについてまとめる。 ・1曲を選び、曲にふさわしい表現を工夫しながら歌唱する。なお、個人の タブレット端末に録音する。	個人	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年7月2日 第5校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年2組(31名)

使用教科書中学生の音楽 2,3 下(教育芸術社出版 P10～22)

(4) 題 材 名 曲想を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第2学年では「浜辺の歌」の学習を通して旋律のまとまりについて考え、表現を工夫することについて学習した。その際、二部形式の構成について理解し、旋律のまとまりを生かして音楽表現を工夫することを経験している。

【題材のねらい】

曲想と歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・歌唱活動に苦手意識があり、消極的な生徒が目立つ。
- ・楽譜について、音符や休符、音楽用語などある程度理解できている生徒が多い。
- ・各自のタブレット端末には、パートの旋律や伴奏の音源が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全 時間)

次 (時数)	学習内容	活動・ 指導形態	評価計画
第1時	・本時の学習内容を理解する。 ・「早春賦」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・斉唱する。	一斉	
第2時	・「早春賦」の言葉のリズムと拍子の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花」の歌詞について意味を知り、2つの旋律について音取りをする。 ・全員で二部合唱する。	個人 グループ	
第4時 本時 P10～ 15	・「花」の言葉のリズムと旋律の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	一斉 パート	思考・判断・表現
第5時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花の街」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第6時	・「花の街」に描かれた情景と時代背景を理解して、自分なりのイメージをふくらませて歌唱表現の工夫について考える。 ・考えたことを歌い確かめる。	一斉 個人	
第7時	・「花の街」を現代に歌うことの意義について考える。 ・考えたことを共有する。 ・考えたことをもとに、曲にふさわしい表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第8時	・3曲の日本歌曲の学習を通してわかったことについてまとめる。 ・1曲を選び、曲にふさわしい表現を工夫しながら歌唱する。なお、個人のタブレット端末に録音する。	個人	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。